

宇陀市

平成18年1月1日、大宇陀町・菟田野町・榛原町・室生村が合併し、宇陀市が誕生しました。宇陀市は、奈良県の北東部、大和高原と呼ばれる高原地帯に位置し、豊かな自然環境・多彩な歴史文化遺産を有しています。また農林業の振興や保健・医療、福祉サービスの充実など、「水と緑 歴史と文化が共生する ふれあい豊かなまち」を目ざして魅力あふれるまちづくりを進めています。

春の季節になると、多くの方が桜を求めて宇陀市へ訪れます。今や全国的にも有名な「又兵衛桜」はもとより、市内には菟田野区の桜並木、榛原区の仏隆寺や室生区の大野寺の桜など、訪れた方を魅了するすばらしい桜が咲き誇ります。それぞれに趣のある桜をぜひご覧ください。

なお、開花状況等は市のホームページに掲載しますので、ご利用ください。



大宇陀区本郷には、樹齢300年ともいわれる通称「又兵衛桜」と呼ばれる見事なしだれ桜があります。この地に伝わる戦国武将「後藤又兵衛」の伝説と、この桜が後藤家の屋

※又兵衛桜(本郷の瀧桜)

見ごろ
4月上旬~中旬

敷跡にあることから「又兵衛桜」と呼ばれ親しまれるようになりました。

シーズンには、高さ13m、幹周り3mを超える桜の巨木がその大きな枝を広げ、薄桃色の花をいっぱい咲かせます。また、開花時期には「桜まつり」が開催され、特産品などの販売やライトアップも行われています。

※水分桜

見ごろ
4月上旬



菟田野区古市場の宇太水分神社近く、芳野川沿いの堤防には約100本の桜が植えられています。その桜並木は約500m。夜にはライトアップされ、咲き誇る桜と川の水面に写る幽玄な桜を楽しむことができます。ぜひ、昼と夜の2回、この桜をご覧ください。ぜひ、その印象のまったく違う桜並木をお楽しみください。

※仏隆寺の桜

見ごろ
4月上旬~中旬

榛原区赤埴、仏隆寺の参道横には、県下最大、最古の桜として県天然記念物にも指定されている、幹周り7.5m、樹齢は900年を



は「桜まつり」が開催され、ライトアップも行われており、年々花見客が増加しています。

※大野寺の桜

見ごろ
4月上旬



室生区大野、大野寺には、樹齢約300年といわれる小糸しだれ桜が2本と、紅しだれ桜30本が、春の訪れとともにその美を競い合います。

弘法大師空海によって堂宇が建てられたと伝わる大野寺、また対岸の岸壁に刻まれた総高13.8m日本最大級の弥勒磨崖仏など、その歴史の趣を感じながら、桜が咲き乱れる見事な情景をお楽しみください。

宇陀市ホームページ

<http://www.city.uda.nara.jp/>